

メールシステム移行について

2022年6月24日
情報処理センター

令和4年8月12日～15日(予定)に実施するメールシステムリプレースで、WebメールのソフトウェアがActive!mailからZimbra Collaboration(以下、Zimbra)に変更されます。変更に伴い、メールの各データについて、移行可能なものと不可能なもの、利用者が個別で作業が必要なものがあります。

現在、新システムの構築及びテストを実施しています。移行テストの結果次第では、下記内容が変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

1. なぜ、メールシステムを Zimbra に変更するのですか？

Zimbraが採用された主な理由は下記の三点です。

- 多要素認証に対応していること。(セキュリティ強化)
- メール本文内の高速な検索が可能であること。(利便性向上)
- 受信箱に大量のメールがあっても一覧表示が遅くならないこと。(問題点解消)

これらの要素は、セキュリティの強化や増大するメールを効率よく処理するために必要になってきました。しかし、Active!mailにはこれらの機能がないため、新しいメールシステムとしてZimbraを採用することになりました。

後述する通り、一部のデータが移行できない等のご不便をおかけしますが、セキュリティと利便性向上のためご理解いただきますようお願いいたします。

2. 各データの移行について

メール自体はすべて移行しますが、メールシステムを変更する関係で、すべてのデータをそのまま移行することはできません。特に、Active!mailが独自に保持しているデータは個別に移行または再設定が必要になります。

2.1. 一括で移行されるデータ

下記データは新メールシステムに一括で移行されます。利用者側での作業は不要です。ただし、システムの違いによって一部制限があります。詳細をご確認ください。

- メール
受信箱や送信箱等のすべてのメールボックスフォルダーにあるすべてのメールは移行されます。過去のメールは新メールシステムでもすべて閲覧可能です。ただし、以下の制限事項があります。

- 「未読/既読」、「旗」、「返信済み」のフラグは移行されますが、「転送済み」のフラグは移行されません。
- フォルダーは階層構造を維持したまま移行されますが、一部のフォルダー名や階層の変更が行われます。詳しくは表 1 メールボックスフォルダー変換表をご確認ください。
 - ◇ Web メール上での名称は変更されません。
 - ◇ IMAP を用いてメールを受信している場合、一部のパスが変更されるため、移行後にフォルダー構成が変更されている場合があります。
- POP を用いてメールを受信している場合、取得済みのメールかどうかの情報が移行できないため、すべてのメールが再取得になります。多くの重複を防ぐために、令和 4 年 8 月 1 日以降のメールのみ所得できるように設定します。
 - ◇ 令和 4 年 8 月 1 日より前のメールは POP で取得できなくなります。Web メールにログインして確認してください。
 - ◇ 令和 4 年 8 月 1 日以降のメールはすべて取得しなおします。既に取得済みのメールは二重に取得することになります。

表 1 メールボックスフォルダー変換表

旧メールシステム		新メールシステム	
名称	パス	名称	パス
受信箱	/INBOX	受信箱	/INBOX
送信箱	/INBOX/Sent	送信箱	/Sent
ゴミ箱	/INBOX/Trash	ゴミ箱	/Trash
下書き保存	/INBOX/Draft	下書き	/Draft
迷惑メール	/INBOX/JunkMail	迷惑メール	/Junk
その他	/INBOX/その他	その他	/INBOX/その他

- 転送設定(自動返信を除く)

外部メールアドレスに転送している場合、転送情報も移行され、新システムでもメールが自動的に転送されます。ただし、以下の制限事項があります。

 - 転送先のメールによって新メールシステム上の設定先が異なります。変更したい場合は、それぞれの設定項目を確認してください。
 - ◇ 転送先が同じアカウント名の Gmail(大学の Google Workspace)の場合
プリファレンス「メール」の「新規メッセージ着信時: メッセージのコピーを以下に転送」に設定されます。(迷惑メールも転送されますが、Gmail によって再度チェックされます。)
 - ◇ 転送先が上記以外の場合
プリファレンス「フィルター」の「メールフィルタールール」のルールの一つとして設定されます。(迷惑メールは転送されません。)

- 条件設定は無視され、すべてのメールが転送されるようになります。条件付けを行いたい場合は、新メールシステム上で再設定してください。
- 「携帯電話への転送」の場合でも通常の転送になります。携帯電話向けの本文省略行われません。
- 「携帯電話に着信通知」の場合でも通常の転送になります。通知ではなくメール本文が転送されます。また、「無効時間帯」の設定は無視され、常に転送されます。
- 自動返信設定(「次の文面を使用して返信」の設定)は移行されません。(自動返信については、新メールシステム上で「外出中」の機能を使用してください。)

2.2. 利用者による個別の移行作業が必要なデータ

システム構成の違いにより、一括で移行することができないデータがあります。必要な場合は、利用者が個別で移行作業の実施をお願いします。

● アドレス帳

旧メールシステムでアドレス帳のデータを取得し、新メールシステムにインポートする必要があります。詳しい手順は旧メールシステムのサイトでご案内します。ただし、以下の制限事項があります。

- アドレス帳の「フォルダ」や「グループ」の情報は新メールシステムに移行することはできません。「フォルダ」や「グループ」の情報が必要な場合は、Gmail または学内限定 Web メールをご利用ください。
- 第三・第四水準漢字や絵文字などの Windows-31J(MS932)に含まれていない文字は文字化けします。

2.3. 移行できないデータ

システム構成の違いにより、そもそも移行自体が不可能なデータがあります。旧メールシステム上の設定を参考に再設定をお願いします。

● スケジュール

新メールシステムでスケジュール機能はなくなりました。スケジュール管理には Google カレンダーや KUE Cloud 等をご利用ください。(「Active!mail データ取得ツール」を使用することで、Google カレンダー等にデータを移行することができます。)

● プロフィールと署名

設定可能な内容が異なるため移行できません。同等の機能である、新メールシステムの「ペルソナ」と「署名」の機能を用いて、設定し直してください。

● フィルタリング(振り分け)

フィルタリング(振り分け)は設定項目が異なるため、振り分けルールを移行できません。新メールシステム上で振り分けルールを設定し直してください。

- 定型文とメールテンプレート
新メールシステムで定型文やメールテンプレートに相当する機能はなくなりました。「署名」等を用いて工夫をお願いします。(学内限定 Web メールでは定型文に相当する「回答」という機能がありますので、こちらの利用もご検討ください。)
- 自動返信
設定可能な内容が異なるため移行できません。同等の機能である、新メールシステムの「外出中」の機能を用いて、設定し直してください。

3. 注意事項

- Gmail(Google Workspace のメール)と学内限定 Web メールは継続して利用可能です。システム更新によって変更はありません。詳細は後述の「その他の Web メール」をご確認ください。
- モバイルとスマートフォン専用の UI はなくなりました。レスポンシブデザインを採用していますので、通常のモダン UI を使用してください。(レガシーブラウザやフィーチャーフォンのブラウザはサポートしていません。)
- 新メールシステムでは多要素認証が設定できます。近い将来、多要素認証を必須とする予定です。設定しておいてください。

4. 旧メールシステムのサイトについて

Active!mail のデータエクスポートや設定の確認用に旧メールシステムのサイトをしばらくの間提供します。期間限定で下記制限がありますのでご注意ください。

- 旧メールシステムの提供は令和5年1月31日までです。それ以降はアクセスできません。
- メール送信はできません。
- メール受信はできません。過去のメールも閲覧できません。
- 設定変更は新メールシステムに反映されません。
- 学外からのアクセスは共通認証が必要になります。

5. Web メール以外の利用者への注意事項

POP および IMAP は継続して利用可能ですが、いくつか注意事項があります。サイボウズやメールアプリ(Thunderbird、Outlook 等)を用いている場合はご注意ください。

- POP でメール取得している場合 (サイボウズを含む)
 - 令和4年8月1日より前のメールは新メールシステムで取得できなくなります。8月1日以降に1回はメールを取得しておいてください。
 - 令和4年8月1日以降のメールで、旧メールシステムで取得したメールは、新メールシステム移行後に重複して取得されます。

- IMAP でメール取得している場合
 - 一部のフォルダーパスが変更されるため、IMAP 上の名前が表示される場合があります。特に「迷惑メール」のフォルダーが「JunkMail」から「Junk」に変更されます。
 - サポートしているメールソフトウェアは下記になります。下記以外は対応できかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 - ◇ Windows 標準メール
 - ◇ macOS 標準メール
 - ◇ Microsoft Outlook
 - ◇ Mozilla Thunderbird

6. その他の Web メール

メールシステムの Web メールとは別に二つの Web メールを用意しています。これらはメールシステム移行後も継続して利用可能です。また、「Active!mail データ取得ツール」を用いてアドレス帳を移行することもできます。

6.1. Gmail (Google Workspace)

大学メールアドレスが利用できる Gmail です。利用を開始したい場合は、情報処理センターホームページ(https://www.kyokyo-u.ac.jp/c_ipc/)の「サービス」→「Google Workspace for Education」にある各案内をお読みください。学内外を問わず、メールの送受信を行うことができません。

※現在、組織アカウントでの利用はできません。

6.2. 学内限定 Web メール (Roundcube)

メールシステムとは別に用意された学内限定の Web メールです。学外からはアクセスできません。多要素認証を必要としないため、多要素認証に必要なスマートフォン等を忘れた場合や、多要素認証を設定するにはそぐわない組織アカウントの管理に使用できます。

この文書に対するお問い合わせは情報処理センターまでお願いします。

情報処理センター

電話: 075-644-8340

メール: ipc@kyokyo-u.ac.jp